

香川高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	220220			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科 (2018年度以前入学者)			対象学年	5	
開設期	集中			週時間数		
教科書/教材	実習先の企業にて準備される。					
担当教員	柿元 健/漆原 史朗					
到達目標						
企業等へのインターンシップに積極的に参加し、電気電子・情報通信分野の技術動向を把握する。 また、実習での製造技術や製品管理等において習得した専門知識がどのように活かされているかを確認し、実務体験を通じて技術者としてのコミュニケーション能力や倫理観の必要性について考えるとともに次年度の進路選択に役立てる。 さらに、実習で得た経験や感想を報告書にまとめ報告会にて説明できる能力を育む。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
技術動向の把握		種々の情報を基に、自主的に企業を決定し、選択理由や実習に対する抱負を記述できる。	実習企業の選択理由や実習に対する抱負を記述できる。	実習企業の選択理由や実習に対する抱負を記述できない。		
コミュニケーション能力や倫理観の育成		実習担当者とコミュニケーションを図りながら、今までの学習成果を活かして実習を進めることができる。	実習担当者とコミュニケーションを図りながら、指導の下で実習を進めることができる。	実習担当者とコミュニケーションを図りながら、指導の下で実習を進めることができない。		
報告書作成		計画的かつ自発的に実習内容等を報告書にまとめ、発表資料を作成することができる。	期日までに実習内容等を報告書にまとめたり、発表資料を作成することができる。	期日までに実習内容等を報告書にまとめたり、発表資料を作成することができない。		
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C-2 学習・教育到達度目標 D-1						
教育方法等						
概要	企業等へのインターンシップに積極的に参加し、電気電子・情報通信分野の技術動向を把握する。 また、実習での製造技術や製品管理等において習得した専門知識がどのように活かされているかを確認し、実務体験を通じて技術者としてのコミュニケーション能力や倫理観の必要性について考えるとともに次年度の進路選択に役立てる。 さらに、実習で得た経験や感想を報告書にまとめ報告会にて説明できる能力を育む。					
授業の進め方・方法	夏期休暇を利用して、企業にて30時間以上の実習を行う。実習内容については、受け入れ先の実習教育担当者の計画、指導に従う。実習終了後、実習報告書を提出し、報告会での発表を義務付ける。					
注意点	下記の記載は、授業実施内容・到達目標を項目ごとに記載しており週ごとの実施内容・到達目標ではない。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実習先企業を決定し、選択理由書を提出する。	種々の情報を基に、自主的に企業を決定し、実習企業の選択理由書や実習に対する抱負を記述できる。		
		2週	「傷害保険契約書」、「インターンシップ申込書」、「誓約書・承諾書」の書類を提出する。	速やかに必要書類を作成し、提出できる。		
		3週	受入れ企業の実習計画に従い実習を行う。	実習担当者の指導に従い、今までの学習成果を生かして実習を行うことができる。		
		4週	受入れ企業の実習計画に従い実習を行う。	分からない点があれば実習担当者に聞き、技術動向を把握できる。		
		5週	実習終了後は「インターンシップ報告書」を作成し、担任に提出する。	実習内容等を報告書にまとめ、発表資料を作成することができる。		
		6週	インターンシップ報告会において、実習内容等を報告する。	決められた発表時間内に、実習内容や成果を発表することができる。		
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				

		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理 (知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3	前3,前4
				現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	3	前3,前4
				技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3	前3,前4
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	前3,前4
				情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	前3,前4
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	前3,前4
				環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	前3,前4
				環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	前3,前4
				国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	前4
				過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	3	前3,前4
				知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	3	前3,前4

評価割合

	書類作成内容	報告書	発表	合計
総合評価割合	20	20	60	100
技術動向の把握	20	0	0	20
コミュニケーション能力や倫理観の育成	0	0	60	60
報告書作成	0	20	0	20